

## 道外所管事務調査

総務産業常任委員会

9月30日～10月3日



1:34:08より  
15分  
委員長報告

少子化対策、人口増加の取り組みで成果をあげている町や村に視察に行きました

所管事務調査は常任委員会で所管している事項について、自主的にテーマを設定し、審議に必要な調査を議会の休会中に行うものです。町から提案された予算案や条例案などの議案審査をするのとは違い現地に行つて視察、聞き取りをすることが多くなります。

12月の定例会議で結果報告した内容を一部抜粋してお知らせします。

### ◆日本で出生率トップクラスの町

(岡山県奈義町)  
なぎちやう

岡山県東北部に位置する奈義町は、平成24年に行政が町民へ約束することを目的に議会の議決で「子育て応援宣言」を行った。子育て支援策や若者定住施策を進め、令和元年に合計特殊出生率が日本トップクラスの「2.95」となり、子育て支援で注目を集める町となっている。

### 子育て応援施策

令和6年の春に保育園1園と



なぎチャイルドホーム

幼稚園2園を統合した定員250名の「なぎっ子こども園」では、登園中に利用するおむつを定額で提供する「おむつのサブスク」を導入した。

また、こども園から中学校まで給食費の完全無償化や町内にある小学校1校、中学校1校では教材費の無償化を実施した。

その他の経済的支援として、出産祝い金10万円、在宅育児をする保護者に月額1万5千円の支援金、高校就学支援として年額24万円の支援金、また、大学生に奨学金英金を貸付し、卒業後に町へ定住した場合は全額返済免除等を実施している。

【所見】子どもの成長に合わせた切れ目のない経済的な支援策に加えて「地域と子育て拠点施設」を整備し、心配や不安と感じた時にいつでも気軽に訪れアロバイザーに相談できる体制を提供した。子育て世帯が不安等の相談が気軽にできる場の提供や、利用者の希望や声が反映される施設運営の他、行政と民間、地域住民が一丸となって子育てができる魅力的で安心できる地域づくりを進めている取り組みは大変参考になるものだった。

### ◆取材重視、問題提起型の議会だより

(鳥取県大山町)  
だいせんちやう

町村議会広報全国コンクール等で多数の受賞実績がある鳥取県の西部に位置する大山町で議会だより編集等の調査を行った。

### 「議会だよりだいせん」の概要

大山町議会の「議会だよりだいせん」の令和6年の予算は、印刷製本費として206万8千円、表紙と裏表紙がカラー印刷、内部の紙面は青と黒の2色刷り約28ページの編集構成となっている。委員は編集作業を主に担う「デスク」と原稿作成や町民意見の収集、写真収集を担う「記者」に分かれて活動している。

### 紙面制作方針

「読みやすい広報誌」にするとともに「○○に興味関心の薄い若い世代」（あえて○○は空白としているとのこと）に読んでもらわなければ意味がないという考え方で編集している。

【所見】大山町議会は、オンライン等の有効活用により情報共有や編集作業の効率化を図るとともに、町民の興味を引く紙面